

学校教育目標

- よく考える子
- なかよくたすけあう子
- つよいからだの子
- 心ゆたかな子

児童の実態

- ・自分の考えを表現することが得意でない
- ・基本的な計算力に課題がある
- ・基礎学力の差が大きい

指導上の課題

- ・考えを練り上げる場面での発問
- ・問題解決の流れを意識させる指導法
- ・児童に表現させる方法の指導

目指す児童像

- ① 目的意識をもって学習に取り組む児童
- ② 自分なりの考えをもって表現する児童

低学年分科会

図や絵、具体物を用いて自分の考えを表現することのできる児童

中学年分科会

自分の考えを、式を用いて表現することのできる児童

高学年分科会

友達の考えを式から読み取って、説明することのできる児童

研究主題

問題解決の力を高める指導法の工夫

～表現力の育成を目指して～

仮説1 基礎・基本の力を高める取り組みを行えば

意欲的に学習に取り組む児童が育つだろう

仮説2 解決のプロセスを意識した指導を行えば、

目的意識をもって学習に取り組む児童が育つだろう

仮説3 児童の様々な表現方法を大切にし、価値付けていけば、

自分の考えを豊かに表現できる児童が育つだろう

手立て1

単元理解の深化

- ・問題解決学習の重点整理
- ・適応問題の選択

手立て2

指導方法の工夫

- ・学習過程の統一
- ・考えを練り上げる場面での発問の工夫

手立て3

教材の精選

- ・基礎力定着のための計算タイムの設定
- ・デジタルコンテンツの活用